

独立行政法人自動車事故対策機構の令和3事業年度業務実績評価結果の主要な反映状況

1. 役員人事への反映について

役員人事への反映	中期目標に定められた業務について、中期計画に沿った年度計画が順調に達成され、主務大臣による令和3年度の総合評価が「B」評価であったこと等を踏まえ、役員解任等は行わなかった。
----------	--

2. 法人の運営、予算への反映について

評価項目	令和3事業年度業務実績評価における主な指摘事項	令和4年度及び5年度の運営、予算への反映状況
国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	(安全指導業務等 民間参入の促進) <ul style="list-style-type: none"> ・ナスバネットの安全指導業務は高齢運転者の事故防止に対応しているのか。数値だけでなく、内容のバージョンアップに関する報告もしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現行のナスバネットによる適性診断においても、高齢運転者の事故防止に対応しているものである。なお、近年の新たな交通環境に対応し、さらなる高齢運転者による事故防止対策として、大学機関と連携し、近年の心理学、脳科学、医学等における運転への加齢影響の研究に基づき、高齢者特有の運転特性を評価する新たな測定項目について、高齢運転者の事故防止の観点から必要な研究開発を進めている。
	(被害者援護業務 知見・成果の普及促進、在宅介護者への支援) <ul style="list-style-type: none"> ・遷延性意識障害者を治療・看護する病院は国内でも療護施設以外ではあまりない状況にある。そのような希少な病院であるのであれば、その有益性を広めるため、年1～2本くらいの論文を療護施設の医師等を書いてもらうことは必要ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・療護施設で得られた知見・成果については、遷延性意識障害の治療等にも寄与するという社会的意義を有することから、学会等において研究発表を実施するなどのほか、短期入院協力病院等の看護師への研修の実施を通じて、他の医療機関等への治療・看護技術の普及活動を積極的に行っているところ。

	<p>(自動車アセスメント業務 わかりやすい情報提供)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントの評価項目に自動車の新しい技術をどんどんと組み入れている点について、もっと一般の方の目に留まるようにアピールしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな評価項目の導入（令和 4 年度は、対自転車 AEBS の評価を開始）に合わせて、ニュースで取り上げられるよう評価試験の報道公開を実施するとともに、評価結果のプレスリリースやパンフレットにおいて、その旨を目立つように記載し、新規評価項目をアピールしている。
<p>その他業務運営に関する重要事項</p>	<p>(人材の活用)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異業種に NASVA 職員を派遣するだけでなく、異業種の職員を NASVA に受け入れることも必要ではないか。異業種を受け入れることにより、NASVA そのものも勉強になると思う。相互交流したほうがよいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会環境の変化に対応できる知識・発想を備える人材を育成することを目的として、異業種職員の受け入れも検討していくこととしている。